

明日にむかって

発行 社会福祉法人陽光会/陽光保育園/板橋第十小学校学童クラブ 発行日 2009年7月31日
編集 「明日にむかって」編集委員会 住所 東京都板橋区大谷口上町23-1 ☎03(3956)1068

59号

5歳児（年長）クラスが武蔵五日市・檜原村での2泊3日の宿泊保育に出発する日のことです。発熱のため、前日、保育園を早退したNくんが登園してくると、みんなで「大丈夫だったんだ！」と喜んだのですが、最寄の駅まで歩いていき、ホームで電車を待っていたら、急にNくんが「お腹痛い」と訴え、熱を測ったら39度3分……。ホームで泣きの別れをしました。その子が3日後、仲間が帰ってくる時間に、お母さんと一緒に園に来てくれたのです。「もう元気になったよ」と……。一緒にには行けなかったけれど、3日間、宿泊保育のこと、仲間のことに思いを寄せてくれ、迎えに行こうと思ったのでした。常に前を向いて、素直に生きている子どもの姿に、あらためて感動しました。（T・R）



陽光保育園は1949年8月、大谷口1丁目水道タンク入口銀杏並木での青空保育（緑陰子ども会）で始まりました。ムシロと借り物の紙芝居、タンバリン一つをもつて、夏の間は木陰を求め、秋になり冷たい風が吹く頃は日向を探し、時には芝居小屋を借りての子ども会です。敗戦直後で食糧衣類、燃料とあらゆる生活用品が不足している時でした。明日の米はどうしたらよいか悩み、寒くなれば燃料を探してマキを拾いに歩く、温かい着る物もなんとかなければと大人たちは苦勞の毎日でした。「どんなに辛い仕事でもいい」「いくらからでも収入になれば」と飛びついて働く時代でした。

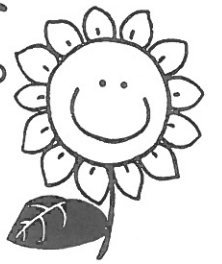


上：2007年に改築された陽光保育園の新聞舎
下：60周年記念行事にむけて、子どもたちと一緒にソーラン節の練習。陽光保育園後援会・春の交流会で

1950年、定員25名、「母の会」が児童福祉施設として認可をとりました。自分たちの保育所づくりのスタートです。内職に使うミシンの空糸巻きに紐を通してブンブン回してあそぶ玩具を子どもたちに届けたり、脱脂粉乳の配給があると、コチコチに固まっている粉乳をつぶす手伝いに駆け付けたり、惜しみなく協力し合って当時のお母さんたちが奮闘したことは、今でも語り継がれています。

板橋区の保育園父母の会連絡協議会や保育問題協議会、学童保育連絡協議会などで、陽光保育園の父母の会や後援会の先輩たちが現在も活躍しています。

おかげさまで、 陽光保育園は 60周年を迎えます。



法人の設立と 父母の会、後援会の活躍

増え続ける入園希望者のために継ぎ足し、継ぎ足していった園舎は雨漏りがして、天井が落ち、全面改築をしなければならず、借金が膨らんで経営主体となる「社会福祉法人陽光会」が設立されました。それまでは陽光保育園の設置者である「母の会」が保育園の運営にあたりました。

1967年、社会福祉法人設立後は「母の会」は「父母の会」と改名し、陽光保育園の事業に協力し、会員父母相互の親睦と助け合いを目的として活動しました。1968年4月には、1歳児から就学までの子どもたちを受け入れる定員94名の新園舎が完成、法人が背負った借金返済を支援するために「陽光保育園改築後援会」が設立されました。以後、毎年70万円の返済のために、改築後援会はバザーの収益を10年間、法人に寄付しつづけてきました。その後、改築後援会は「陽光保育園後援会」と改名し、「陽光保育園の支援」と、「子育てで一人ははちちをつくらない」のローガンをかけて活動し、独自にさまざまな行事に取り組んでいます。

激変する社会情勢のなかで

1970年代以降、世の中はめまぐるしく変化していきました。障がいがかかえたり子どもの保育や、父母の長時間労働に伴う特別・延長保育の希望、産休明けからの保育の要望など、保育園の役割は多様化し、入所希望者が急増、美濃部革新都政誕生のなか福祉が前進しました。

1979年4月、ようやく10年間で借金返済を終えたのもつかの間、産休明け保育実現のために、新たに1900万円の借金をして、産休明け（生後43日目）からの保育を実現し、創立30周年を迎えました。あれから30年。社会情勢はさらに大きく変化してきました。親たちの労働実態の変化、保育制度や行政の施策の変化、そして日本の政治・経済の方向が、その都度、子どもたちや小さな民間の保育園の経営を直撃し、さまざまに影響を与えてきました。その苦難は一言では語りつくせないものが

あります。しかし、どんな荒波が押し寄せようと、「陽光」は「明日にむかって」を合言葉に、父母・職員・理事の連帯、そして地域の方たちの支援のもと、知恵を出し合って乗り越え、今、創立60周年を迎えようとしています。

8月25日が創立記念日です。9月13日の創立60周年記念行事、また60周年記念誌の発行にむけて、今、理事を先頭に現職職員、子育て現役の父母たち、卒園しすでに成人



60周年記念行事と記念誌の発行にむけて、何度も実行委員会を開いています

社会福祉法人陽光会 理事長代行 吉永和男さんを偲ぶ会

去る6月20日、グリーンホールの2階ホールで開かれた「吉永和男さんを偲ぶ会」には、板橋区内はもとより、遠くは九州や関西から140名の方にご出席いただきました。吉永和男さんは、3人のお子さんが陽光保育園を卒園後、社会福祉法人陽光会の理事、監事、理事長代行を歴任。地域の中では「大谷口九条の会」を立ち上げ、数ある板橋の九条の会のまともな役もこなし、障害者施設を運営するNPO法人「はらから東京の会」の監事も務めるなど、幅広く活躍してこられました。一方で、高校時代の同窓生や陽光保育園の父母仲間との旅を楽しんだり、書物や映画、演劇を愛する趣味人でもあり、広く多くの方から愛された方でした。

にぎやかに楽しくお酒を飲むことが大好きだった吉永さんも、きつと天国で、照れながらもにんまりされていたことでしょうか。また、この日にあわせて刊行された「風—吉永和男さん追悼文集」には、多くの方の吉永さんに寄せた思いのほか、吉永さんが折に触れて書かれていたエッセイ風の原稿も掲載され、改めて吉永さんの平和を希求する強い思いを知ることができました。多くの方のご協力によりこの会を開催できたことに感謝申し上げます。同時に、吉永和男さんのご冥福を心からお祈りいたします。（社会福祉法人陽光会理事 筒井和美）



「芳さんほかよ」

9月13日(日) 陽光保育園 創立60周年記念行事のご案内

陽光保育園創立60周年の記念行事を9月13日に開催します。陽光保育園に関わってきたみなさんとともに、楽しく祝いたいものです。どうぞお問い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

●午前の部●

みんなでつくる みんなのつどい

時間 午前10時～12時
(受付 9時30分～)

場所 板橋第十小学校体育館

- 内容 ①オープニング
- ②あいさつ
- ③つながり遊び、リズム、荒馬踊り
- ④みんなで歌いましょう
- ⑤みんなで踊ろう
- ソーラン節
- ⑥餅まき
- ⑦くす玉割り
- ⑧フィナーレ

●午後の部●

レセプション

時間 午後2時～4時30分
(受付 1時30分～)

場所 陽光保育園

- 内容 ①開会あいさつ
- ②理事長あいさつ
- ③乾杯
- ④祝辞
- ⑤歓談 会食
- ⑥ピアノ演奏
- ⑦陽光保育園の歴史を語る（紙芝居）
- ⑧園長謝辞
- ⑨閉会のあいさつ

職員募集 ●お問合せは陽光保育園まで
○保育士（保育経験者） 数名
○勤務先 練馬区立北町保育園
（社会福祉法人陽光会で運営受託）

- ◆ごあんない
- ◆陽光保育園運動会
とき 10月18日(日) 9時～14時
場所 板橋第十小学校校庭
- ◆陽光保育園冬のバザー
（雨天の場合は体育館）
とき 12月6日(日) 10時～14時
場所 陽光保育園
- ◆陽光保育園後援会 秋の交流会
とき 11月8日(日)
場所 巾着田・日和田山
（とき・場所とも予定です。詳しくは追ってお知らせします）

「明日にむかって」歩みつづけるために
（社会福祉法人陽光会理事長 星野 紀）

「いたずら」編

2歳児

子どもは、ときとして大人が思いもよらない姿を見せてくれます。そんな姿に出会うと、「なるほど……」と感心したり、教えられたり、「なんて素敵なんだろう！」と、子どもの想いに感動することもしばしばです。そんな「子どもの世界」を、保育園での子どもの姿から紹介します。第1回は、2歳児編です。

破かれた一冊の絵本

トモくんが2歳3か月頃のこと、2歳児の保育室での出来事です。絵本棚から子どもたちが自由に絵本を取り出し、自分のページでページをめくり、絵を楽しんでいたときのこと、ビリビリに破かれた一冊の絵本を保育者が見つけた。

保育士「あれ？ 大事な本がビリビリになっちゃってる。どうしたのかな？」

それを聞いた周りの子どもたちから、「トモ、トモがビリビリしたの！」

一斉に声があがります。

いたずら盛りのトモ(仮名)くんのことをクラスの子どもたちもよく分かっていて、名前があがったようなのですが……



保育士「えっ？ トモくんがビリビリしたの？」

と、そばにいたトモくんに聞いかけると、

トモ「うん……」

と首を横に振るものの、にやりと笑って、ばつが悪そうに顔をしています。すると、そのあとすぐトモくんの口から、トモ「オオカミ、オオカミ、ヤッター！」という言葉が飛び出しました。

トモくんのひらめきに……

「えっ！ オオカミ？ オオカミがやったの？」と、びっくりする保育者と周りの子どもたち。

トモ「うん、オオカミやったの！」と繰り返すのは真剣そのものです。

保育士「そっか、オオカミがビリビリしたんだ？ 悪いオオカミだね！」このあとに続く言葉がなかなか見つから



がトモくんの心にも膨らんでいたのにはがいないのです。

本来なら「ビリビリ、ダメよ！」と注意するはずが、子どもの発想に感動し、その世界に保育者も入り込んで、保育士「オオカミがやったんじゃ仕方ない……」

と、その場を収めました。

トモくんの「やった！」というつぶやきが聞こえてきそうでした。

(陽光保育園保育士 宗形博美)

陽光保育園後援会 2009年度総会開催

5月29日、陽光保育園後援会の2009年度総会が開かれました。第一部は、ミニコンサート。陽光保育園を卒業し、今は大学4年生の山村直義くんが友達とつくったバンドで、オリジナル曲3曲にゆずの「栄光の架橋」も演奏。拍手喝采を浴び、アンコールもでるほどでした。軽食と休憩をはさみ、第二部総会では、32人の参加者のもと、今年の活動方針(陽光保育園への財政支援、人的支援、60周年記念行事への協力ほか)などが可決されました。陽光保育園後援会では今年もさまざまな行事を計画しています。ぜひご参加ください。



卒業した山村くんとその友人のバンド演奏で盛り上がった第一部

建築資金

◎寄付のご協力ありがとうございます。

(2009年3月16日～7月15日/順不同・敬称略)

浅羽正次、宮沢光子、矢部ふみ子、岡田和歌子、小山陽子、渡辺弘子、北澤三千子、匿名希望1名、陽光保育園財政部、横田和美(ご遺言による寄付) 寄付金と財政活動収益(物品販売他)の合計は659,230円です。みなさまのご協力で心から感謝いたします。

◎寄付のお願い(1口5000円/何口でもけっこうです)

下記口座に振り込みをお願いいたします。領収書が必要な方はお書き添えください。寄付金控除の対象になります。

郵便振替口座 00140-0-260468
口座名 陽光保育園建設委員会



お父さんの出番です!!

夢ちゃんが大きくなったら……

夢ちゃんの最近のお気に入りスポットは、豊洲にある「キッザニア」です。ソフトクリームショップ、パン工場、ジューススタンド、ピザショップ(食べ物やさんばかりですが……、ほかにもきちんとした職業を体験できます)などの約50種類もの職業を体験でき、お仕事をした後にはお土産やお給料をもらえて、そのお金を銀行に預金できたりと、ちょっと一人前の大人の雰囲気を感じられるところ。魅力を感じているようです。

「キッザニア」でいろいろな職業を体験した夢ちゃんが、今一番になりたい職業は「警察官」だそうです。もっと他に女の子らしい仕事がある中で、ちょっと意外でしたが、国民を守り秩序を保つという正義感を発揮できる仕事で、もし実際になれたら、親としても嬉しいことですね。

しかしながら、この正義感が私に対して発揮されることがあり、チョット困っています。それは、私の「つまみ食い」や「隠れ食い」を発見すると、すぐにママ署長に通報し、食べ物やママ署長が取り上げてしまうので、夢おまわりさんによって、私の家での唯一の楽しみ(?)が出来なくなってしまうことです。でも悪いことはわかっていますが、やめられないのですねえ、ごめんなさい、夢おまわりさん。

ママに通報するときのひそひそ話や、パパに「パーパー、もっとおびびろ(おでこ)になっちゃうよ」と口を尖らせて言う夢の姿は、チョット可愛いなと思ってしまう。これからは、他の悪いことに対して、ぜひ正義感を発揮してくださいね、夢おまわりさん。

(5歳児クラス・夢の父 神山 保)

親子でいっしょにあそぼう

陽光保育園では、親子で参加できる広場を月1回設けています。2009年度は、陽光保育園の子どもたちが日頃遊んでいる「砂遊び」と「リズム遊び」を主に計画しました。気軽に遊びにきてください。無料です。

場所 陽光保育園(お問合せは☎3956-1068へ)
時間 午前9時30分～11時(赤ちゃんは10時30分まで)
対象 0歳児～就学前のお子さんと保護者
発達に障害のあるお子さんも大歓迎です

*タオルと着替えをご持参ください。
*0歳のお子さんは、室内にて、赤ちゃん体操やあやし遊びなどでゆったり過ごす予定です。

2009年度/今後の予定

Table with 4 columns: Date, Day, Event Name, Location. Dates include 8月20日, 9月17日, 10月15日, 11月19日, 12月16日, 1月14日, 2月18日, 3月11日.

(10月:栄養士が「食」について相談を受けます)



◆こんなときご利用ください
保護者の就労・求職・通院・職業訓練・通学・看護・介護など。また保護者の傷病・災害・事故・出産・冠婚葬祭など緊急時
保護者の生涯学習・子育て不安・リフレクシブなど
育児相談、健康診断等、お子さんが保育園での保育が必要と認められたとき

◆利用日・利用時間など
月曜日～金曜日の9時～17時(土・日・祝日・年末年始休) 1歳以上で、離乳の完了しているお子さんから。ただし、板橋区発行「すくすくカード」利用の方は生後10か月から。一日1時間～8時間。ご希望の時間帯で利用できます。

◆お申し込み・お問合せ
直接陽光保育園へ。(受付時間10時～17時) 緊急時以外は、なるべく利用される10日前までに申し込んでください。
事前に面接をしていただき、利用日・利用時間を予約していただきます(親子でおいでください)。
利用料その他、詳しくは陽光保育園までお問合せください。

平和への架橋になることを願って



加瀬唯史

私が初めて戦争の恐ろしさを胸に刻んだのは、小学生のときに見た山田典吾監督の映画「はだしのゲン」(実写版)でした。かなりの恐怖とトラウマが幼い私の小さな胸に強烈に残ったのでした。両親が平和運動に積極的に関わっていたのも手伝って、自然と戦争や平和に対する関心が強くなり、嫌いなもの=戦争みたいなものがずっと心の支柱となってきました。

大人になって、ヒッピーやウッズストックにかぶれ、ジョン・レノンを聴き、日本平和大会や原水爆禁止世界大会、3・1ピキニデーなどに参加して、さらにその思いを強めました。

私は今、P☆Brigdeという平和サークルで仲間とともに活動しています。PはPeaceのP、Brigdeは橋、"平和の架橋"という意味で、板橋の「橋」もかけています。基本的には原水爆禁止世界大会に参加した板橋の青年で構成されています。参加した方がいいが、そのあと運動に関わっていない人が多いと思ったからです。

主な活動は、戦争体験者の話を聞き記録すること、フィールドワークです。今まで何人かの体験者に取材しましたが、みなさん最後に言われるのは、「戦争はもうこりこり」と「二度と戦争はしないほしい」です。この思いを若い人が受け継いでいかなければいけません。

フィールドワークでは、靖国神社(遊就館)や女たちの戦争と平和資料館の見学、浅草戦跡めぐりのほか、東京空襲被災資料センターや日吉台海軍地下壕(横浜・慶應大学日吉キャンパス内)にも行きました。多くの場所で学んだことは、戦争で犠牲になるのは弱者、とくに貧しいものや女性、子どもだということです。そして、戦争は一部の支配者が、国民をだましながら始めるということです。非常に用意周到に、複雑にからみあったウソをつきながら戦争へと突き進んでいくのです。「ふと気がついたら戦争になっていた」と沖縄のおばあが言っていました。

そして今また、その大きなウソが始まっていることに私たちは気がつかねばなりません。ウソを見破る力をつけなければなりません。私たちはまたすべてを失ってしまうかもしれないのです。戦争や平和に興味をお持ちの方、ぜひ声をおかけください。Peace!!

(P☆Brigde 平和サークル会員)